

海洋概報

(海 氷 編)

北海道周辺の海氷状況

観測期間：令和7年12月～令和8年4月

第一管区海上保安本部

目 次

1	はじめに	1
2	観測実施状況	1
	(1) 当庁の観測	1
	イ 沿岸観測	1
	ロ 巡視船艇による観測	1
	ハ 航空機による観測	2
	(2) その他の機関による観測	2
	イ 沿岸観測	2
	ロ 人工衛星による観測	2
3	海氷状況	4
	(1) 月別海氷状況	4
	イ 1月	4
	ロ 2月	4
	ハ 3月	4
	ニ 4月	5
	(2) 月別港内状況一覧（港内氷量）	11
4	海氷状況の情報提供	17
	(1) 海氷速報の提供	18
	(2) インターネット	18
	(3) 無線	18
5	海氷による海難	18
6	沿岸海氷統計	19
7	今季の海氷状況	29

令和7年～令和8年における北海道周辺海域の海氷状況

1 はじめに

第一管区海上保安本部では、海氷による海難を防止する目的で、毎年冬季に「海氷情報センター」を設置し海氷情報の収集及び提供を行っている。これは、昭和45年3月、択捉島において海氷による集団海難が発生し、多数の死亡者及び行方不明者を出した事故を契機としている。

今季の「海氷情報センター」は、令和7年12月19日に開所し、令和8年4月22日をもって閉所となった。

本報告書は今季の「海氷情報センター」設置期間における海氷観測の結果を取りまとめたものである。

2 観測実施状況

(1) 当庁の観測

イ 沿岸観測

陸上からの沿岸観測地点及び観測項目は図1及び表1のとおりで、毎日9時から12時までの間に実施した。

表1 沿岸観測地点及び観測項目


	観測地点
	稚内海上保安部
	網走海上保安署(平日のみの観測)
	羅臼海上保安署(平日のみの観測)
	根室海上保安部
根室海上保安部花咲分室(平日のみの観測)	
観測項目	
視程、氷量、氷種、分布状況及び航行障害状況	

図1 沿岸観測地点

ロ 巡視船艇による観測

巡視船艇によるアイスパトロール及びしょう戒行動時において、海氷は18件観測された。(表2)

表2 巡視船艇による観測

船名	所属	件数	船名	所属	件数
くなしり	根室	4	だいせつ	紋別	4
さろま	根室	2	てしお	羅臼	3
かりば	根室	2	そらち	網走	3

また、巡視船そうやにより令和8年2月16日～2月22日にかけて海氷観測を実施しており、この報告は別途「令和7年度オホーツク海南西海域海氷観測報告書」に取りまとめている。

ハ 航空機による観測

航空機による海氷観測では、搭乗した観測員が海氷分布図を作成し、その日の海氷速報に使用した。年度計画により予定していた15回の観測のうち、業務都合等のため中止した6回を除く9回実施したほか、しょう戒行動時に海氷観測の報告が3件あった。(表3)

表3 航空機による観測

	実施日	機種	備考		実施日	機種	備考
1	1月 11日	MA724	しょう戒時	7	3月 18日	MA724	
2	1月 16日	MA724		8	3月 24日	MA724	
3	1月 21日	MA724		9	3月 31日	MA724	しょう戒時
4	2月 10日	MA724		10	4月 2日	MA724	
5	2月 12日	MA724	しょう戒時	11	4月 10日	MA724	
6	3月 10日	MA724		12	4月 15日	MA724	

(2) その他の機関による観測

当庁の他、外部諸機関より各種海氷観測資料を入手した。
なお、各資料の入手件数は表4のとおりである。

イ 沿岸観測

- ・独立行政法人 北方領土問題対策協会
納沙布岬の海氷目視観測が実施され、ファクシミリにより提供を受けた。
- ・オホーツク・ガリンコタワー株式会社
紋別の海氷目視観測及びタワーレーダーによる観測が実施され、特異事象について別途電子メールにより提供を受けた。
- ・道東観光開発株式会社
網走の海氷目視観測が実施され、ファクシミリにより提供を受けた。
- ・もんべつ海の学校
ウェブサイトから入手した。

ロ 人工衛星による観測

- ・気象庁海洋気象情報室
気象衛星等の情報を解析し作成された海氷解析図を、気象庁ウェブサイトから入手した。

・宇宙航空研究開発機構

陸域観測技術衛星2号「だいち2号」による PALSAR-2（フェーズドアレイ方式Lバンド合成開口レーダー）画像、気候変動観測衛星「しきさい」（GCOM-C）の SGLI 画像及び水循環変動観測衛星「しずく」（GCOM-W）の AMSR2 画像を JAXA ウェブサイト等から入手し、海氷分布状況の解析に使用した。

・東海大学情報技術センター

地球観測衛星 AQUA から受信した MODIS 画像並びに地球観測衛星 suomi NPP 及び JPSS1 から受信した VIIRS 画像を同大学のウェブサイトから入手し、海氷分布状況の解析に使用した。

表 4 観測資料入手件数

海上保安庁による観測		海上保安庁以外の機関による観測	
・沿岸観測 保安部署	447	・沿岸観測 独立行政法人 北方領土問題対策協会	7
・巡視船艇	18	オホーツク・ガリンコタワー株式会社	56
・航空機	12	道東観光開発株式会社	62
		もんべつ海の学校	85
		・人工衛星	
		気象庁海洋気象情報室 (海氷解析図)	33
		宇宙航空研究開発機構 (JAXA) (水循環変動観測衛星「しずく」)	496
		(気候変動観測衛星「しきさい」)	248
		(陸域観測技術衛星2号「だいち2号」)	48
		東海大学情報技術センター	
		(地球観測衛星AQUA)	46
		(地球観測衛星suomi NPP及びJPSS1)	292
合 計 (件)	477	合 計 (件)	1,373

3 海氷状況

各月別の海氷状況及び港内状況は、次のとおりである。

なお、オホーツク海及び周辺の主要地名等一覧を図2に示す。

(1) 月別海氷状況

イ 1月 (図3.1)

上旬：オホーツク海の海氷は、4日に北緯46度以南に達したのが確認され、北緯45度付近まで南下した。

中旬：オホーツク海の海氷は、南下が進み北緯44.7度付近まで達した。

下旬：オホーツク海の海氷は、勢力を増しながら南下を続け、枝幸から知床岬にかけての広い範囲で接岸したほか、根室海峡に流入した。

また、ZALIV ANIVA (以下、「アニワ湾」という。) 沿岸において海氷が観測された。

網走では、26日に流氷初日を観測した。

ロ 2月 (図3.2)

上旬：オホーツク海の海氷は、海氷域を拡大しながら枝幸から択捉島にかけての広い範囲で接岸したほか、根室海峡へ流入した。

また、一部は国後水道から太平洋への海氷の流出も見られた。

羅臼では、2日に流氷初日を観測した。

中旬：オホーツク海の海氷は、勢力を維持しつつ、枝幸から択捉島までの広い範囲で接岸を続け、根室海峡への海氷の流入も続いており、国後水道から太平洋への海氷の流出も見られた。

また、アニワ湾沿岸における海氷が発達し、オホーツク海の海氷と結合した。

下旬：オホーツク海の海氷は、勢力を維持しつつ、枝幸から知床半島にかけて接岸と離岸を繰り返していた。国後島から択捉島にかけては引き続き接岸しており、根室海峡への海氷の流入と国後水道からの太平洋への海氷の流出も見られた。

ハ 3月 (図3.3)

上旬：オホーツク海の海氷は、海氷域の密接度が全体的に小さくなり、枝幸から択捉島にかけて接岸と離岸を繰り返しているが、根室海峡及び国後水道への海氷の流入は引き続き見られた。

アニワ湾沿岸の海氷は、ほぼ融解した。

中旬：オホーツク海の海氷は、徐々に融解が進み、海氷域は縮小してきたが、再び枝幸から択捉島にかけての広い範囲で接岸し、根室海峡への海氷の流入も続いており、国後水道から太平洋への海氷の流出も見られた。根室では、14日に流氷初日を観測した。

下旬：オホーツク海の海氷は、引き続き融解を進めながら、枝幸から択捉島にかけて接岸と離岸を繰り返した。引き続き、根室海峡への海氷の流入は続いており、国後水道から太平洋への海氷の流出も見られた。根室では、25日に流氷終日となった。

ニ 4月（図3.4）

上旬：オホーツク海の海氷は、急速に融解が進み、期間の終盤頃には沿岸付近の海氷は融解し、知床半島北岸に一部残るのみとなった。根室海峡に残っていた海氷は融解した。

羅臼では、3日に流氷終日となった。

中旬：オホーツク海の海氷は、更に融解が進み、19日には知床半島北西沖に一部見られるだけとなった。

網走では、16日に流氷終日となった。

下旬：22日には海氷が確認されなかったため、今季の海氷情報センター業務を終了した。

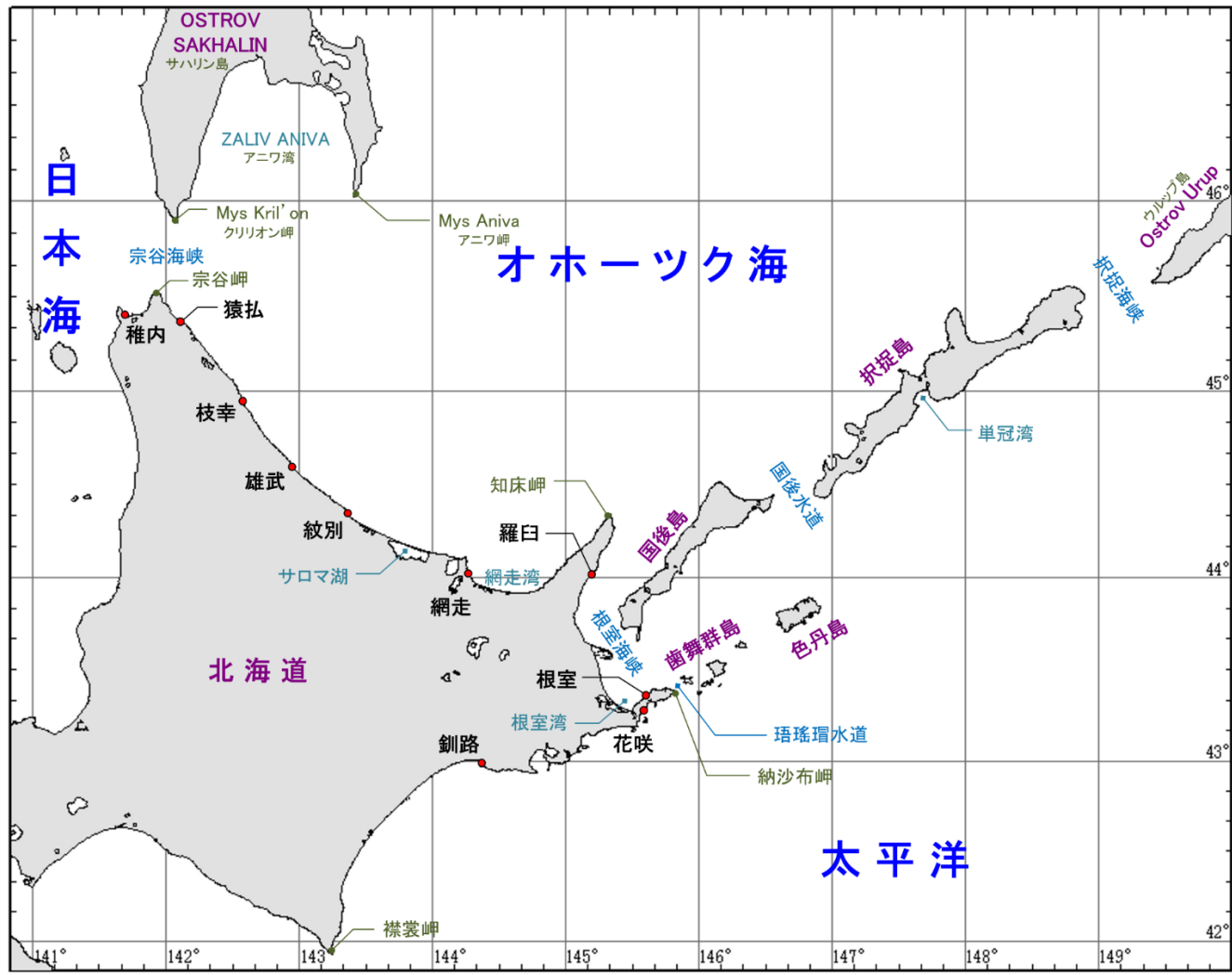
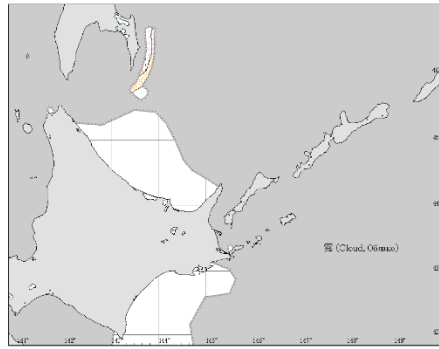
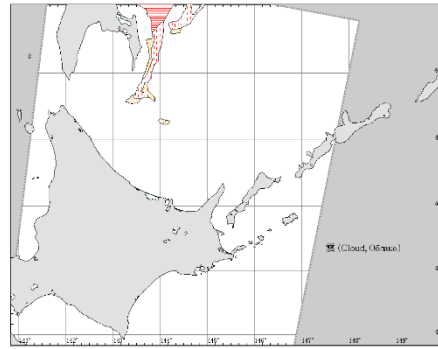


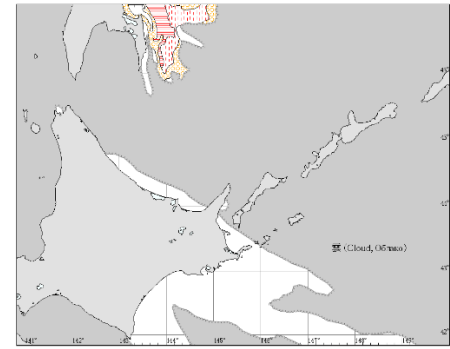
図2 主要地名等一覧



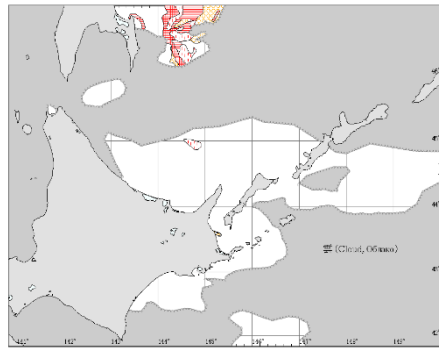
Jan. 04, 2026



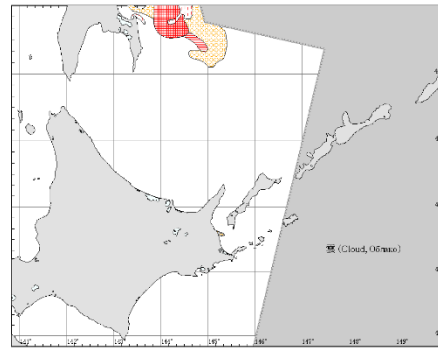
Jan. 05, 2026



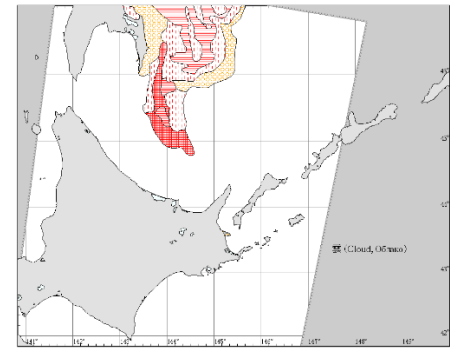
Jan. 09, 2026



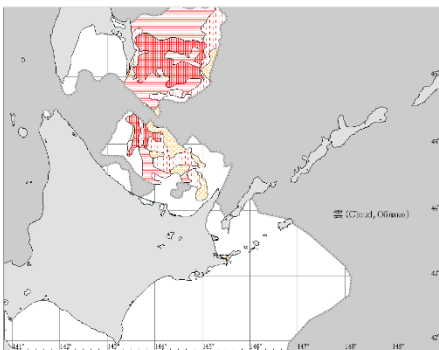
Jan. 13, 2026



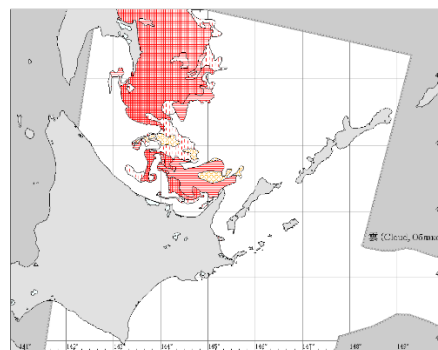
Jan. 15, 2026



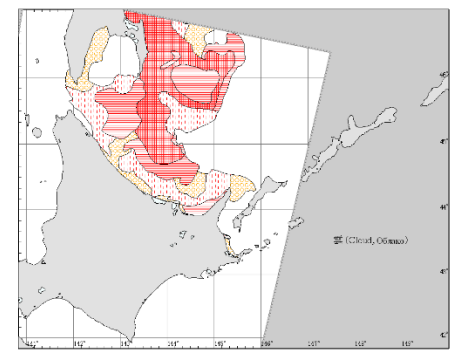
Jan. 19, 2026



Jan. 21, 2026



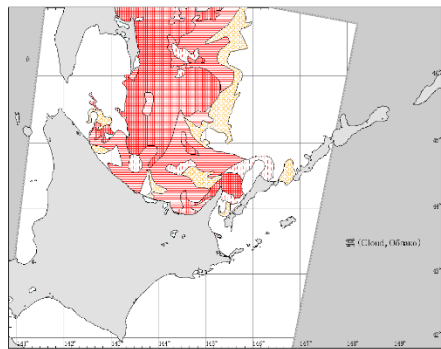
Jan. 24, 2026



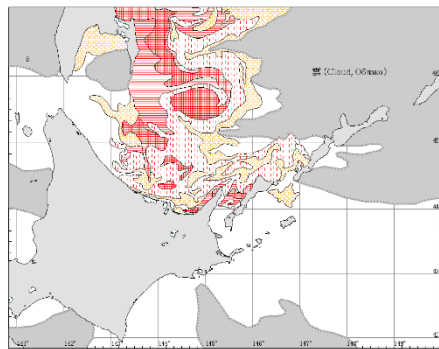
Jan. 29, 2026



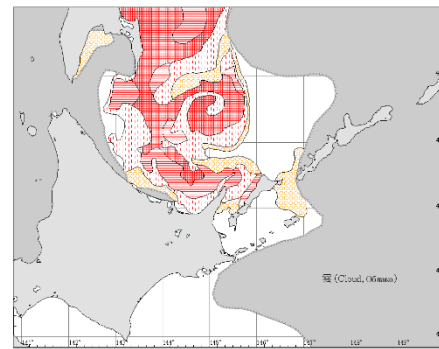
图 3.1 海氷分布 (2026 年 1 月)



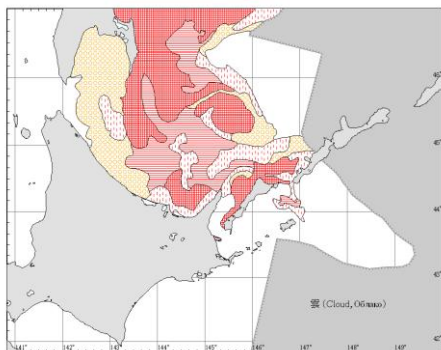
Feb. 02, 2026



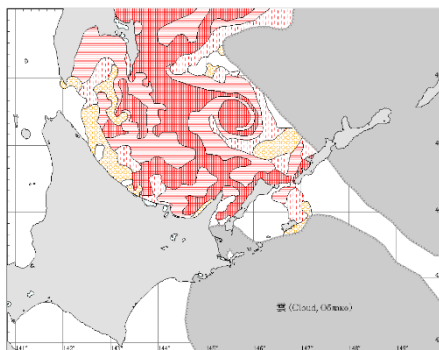
Feb. 05, 2026



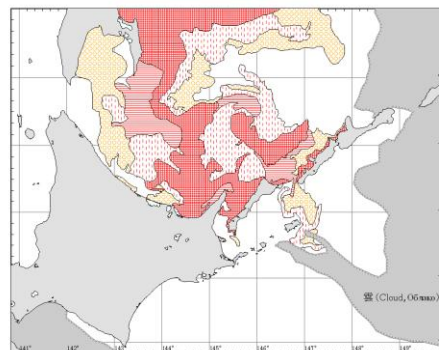
Feb. 08, 2026



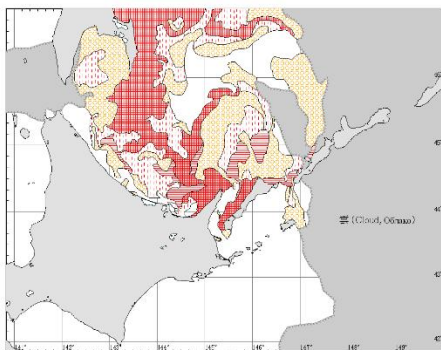
Feb. 12, 2026



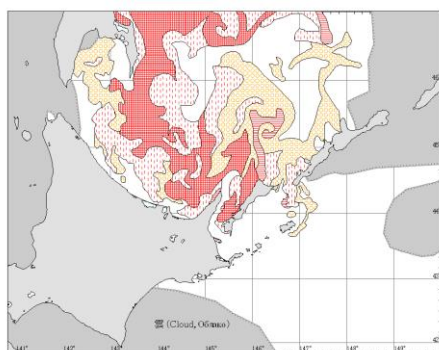
Feb. 14, 2026



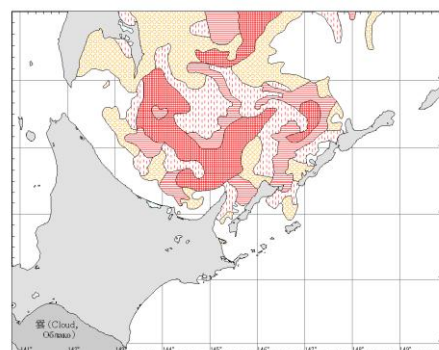
Feb. 17, 2026



Feb. 20, 2026



Feb. 22, 2026



Feb. 26, 2026

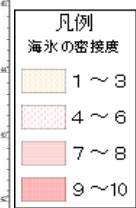
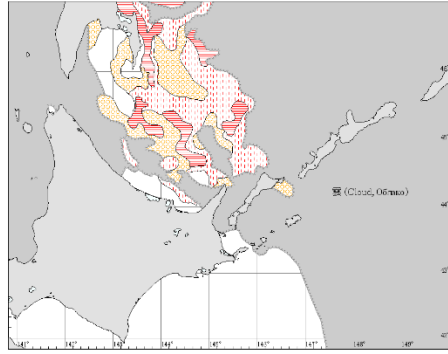
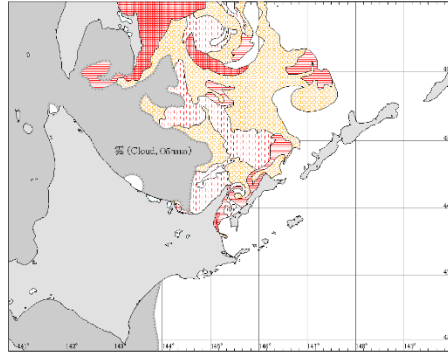


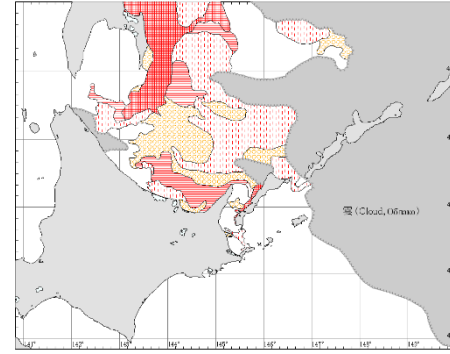
图 3.2 海氷分布 (2026 年 2 月)



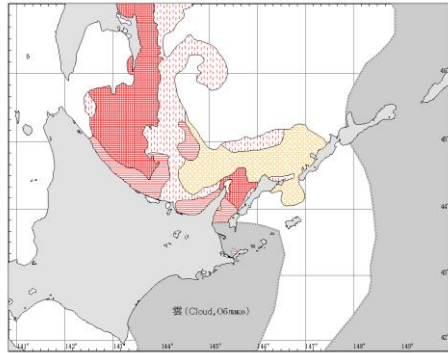
Mar. 01, 2026



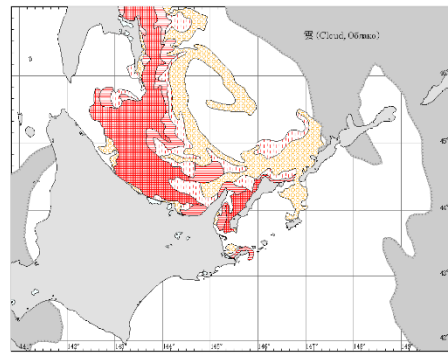
Mar. 06, 2026



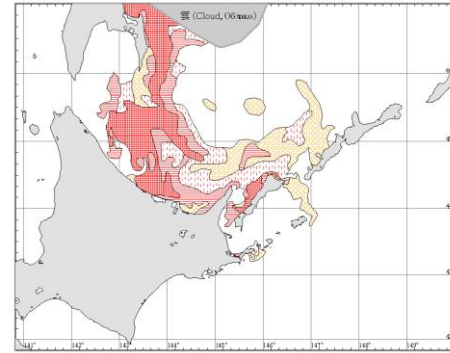
Mar. 09, 2026



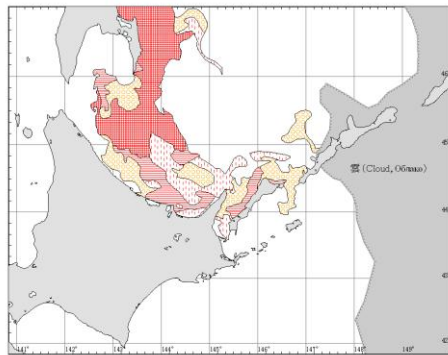
Mar. 16, 2026



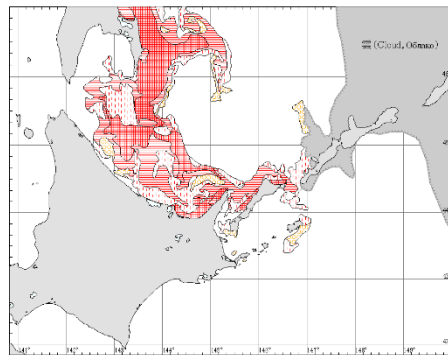
Mar. 18, 2026



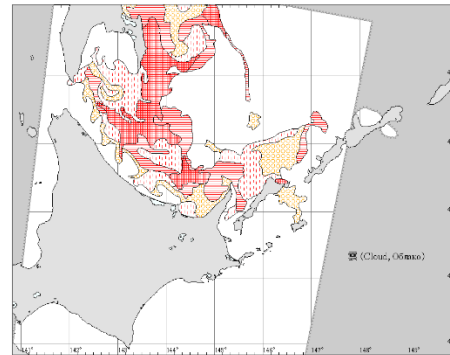
Mar. 20, 2026



Mar. 22, 2026



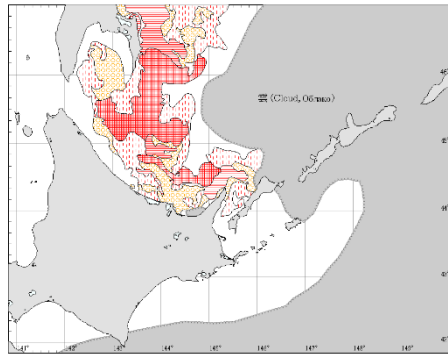
Mar. 25, 2026



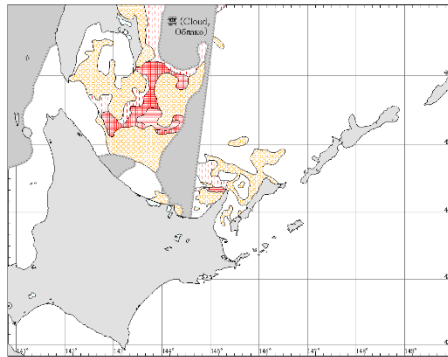
Mar. 30, 2026



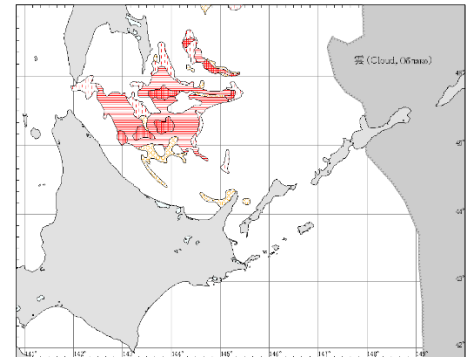
図 3.3 海水分布 (2026 年 3 月)



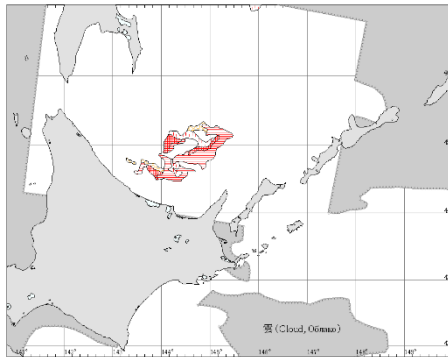
Apr. 01, 2026



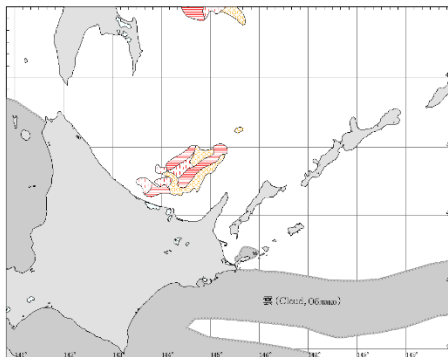
Apr. 03, 2026



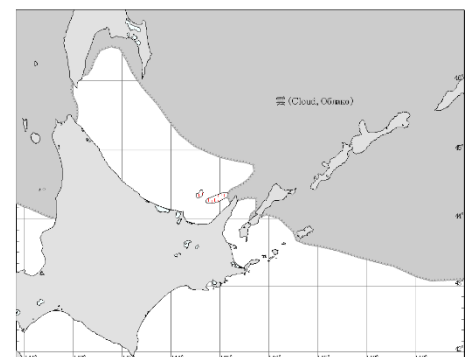
Apr. 08, 2026



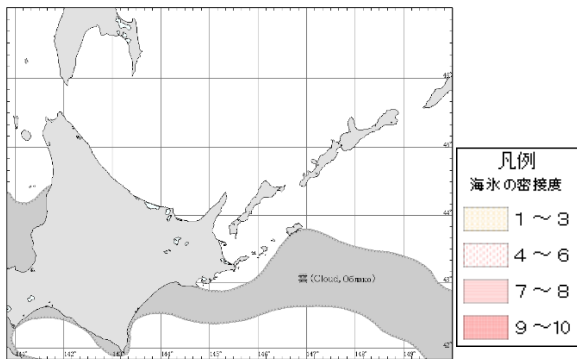
Apr. 13, 2026



Apr. 15, 2026



Apr. 19, 2026



Apr. 22, 2026

図 3.4 海水分布 (2026 年 4 月)

(2) 月別港内状況一覧（港内氷量）

海氷の種類と記号については表5に示すとおりである。

各沿岸観測地点における港内の状況は、表6のとおりである。

なお、氷量は、港内全域の海面を10として海氷で覆われた面積の割合を示したものであり、氷量が1に満たないときは0+、氷量が10でも多少の隙間があるときは10-とする。

また、★印は港内及び観測地点付近において海氷による航行障害（海氷により船の航行が妨げられること）が発生したことを示す。

網走、羅臼、花咲においては、土日祝日の観測を行っていない。

表5 海氷の種類と記号

記号	種類	記号	細分類	厚さ・大きさ
N	新成氷	Cr	晶氷	
		Gr	グリースアイス	
		S1	雪泥	
		Sg	スポンジ氷	
Ni	ニラス	Nd	暗いニラス	厚さ5cm未満
		N1	明るいニラス	厚さ5～10cm
		R	氷殻	厚さ5cm程度
P	はす葉氷	P	はす葉氷	厚さ10cm程度
Y	板状軟氷	Y1	薄い板状軟氷	厚さ10～15cm
		Y2	厚い板状軟氷	厚さ15～30cm
W	一年氷	W0	薄い一年氷	厚さ30～70cm
		W1	並の一年氷	厚さ70～120cm
		W2	厚い一年氷	厚さ120cm以上
Br	砕け氷	Br	砕け氷	直径2m以下
Ck	板氷	Cs	小板氷	直径2m以下
		Ck	板氷	直径2～20m
F	氷盤	Fs	小氷盤	直径20～100m
		Fm	中氷盤	直径100～500m
		Fb	大氷盤	直径500～2000m
		Fv	巨氷盤	直径2～10km
		Fg	巨大氷盤	直径10km以上

表 6.1 港内状況一覧 (2025 年 12 月)

日	稚内	水量	網走	水量	羅臼	水量	根室	水量	花咲	水量
19		0		0		0	Gr	2		0
20		0						0		
21		0						0		
22		0		0		0		0		0
23		0		0		0		0		0
24		0		0		0		0		0
25		0		0		0		0		0
26		0		0		0		0		0
27		0						0		
28		0						0		
29		0						0		
30		0						0		
31		0						0		

表 6.2 港内状況一覧 (2026 年 1 月)

日	稚内	水量	網走	水量	羅臼	水量	根室	水量	花咲	水量
1		0						0		
2		0						0		
3		0					Gr	0+		
4		0					Gr	2		
5		0		0		0	Gr	1		0
6		0		0		0	Gr	0+		0
7		0		0		0	Gr, P★	4		0
8		0		0		0	Gr	1		0
9		0		0		0		0		0
10		0					Gr	2		
11		0						0		
12		0						0		
13		0		0		0		0		0
14		0		0		0		0		0
15		0		0		0	Gr	0+		0
16		0		0		0	Gr	5		0
17		0					Gr	2		
18		0								
19		0		0		0	Gr	2		0
20		0		0		0		0		0
21		0		0		0		0		0
22		0		0		0	Gr	2		0
23		0		0		0	Gr	4		0
24		0					Gr	5		
25		0					Gr	8		
26		0	S1	1		0	Gr	5		0
27		0	S1	1		0	Gr	1		0
28		0		0		0	Gr	2		0
29		0	S1	1		0	Gr	2		0
30		0	S1	0+		0	Gr, P	1		0
31		0					Gr	2		

表 6.3 港内状況一覧 (2026 年 2 月)

目	稚内	氷量	網走	氷量	羅臼	氷量	根室	氷量	花咲	氷量
1		0					Gr	2		
2		0	Sl, Gr★	3		0	Gr	2		0
3		0	Sl, Gr★	1		0	Gr	6		0
4		0	Sl, Gr	0+		0	Gr★	8		0
5		0	Sl, Gr★	1		0	Gr	2		0
6		0	Gr, Y	1		0	Gr	0+		0
7		0						0		
8		0					Gr	2		
9		0		0	Gr	2	Gr	2		0
10		0	Gr, Sl, Y	2		0	Gr★	3		0
11		0						0		
12		0		0		0	Gr	2		0
13		0	Sl, Gr, Y	1		0	Gr	1		0
14		0						0		
15		0						0		
16		0	Gr★	1		0		0		0
17		0	Gr★	1		0	Gr	2		0
18		0	Gr	0+		0		0		0
19		0		0		0		0		0
20		0		0		0		0		0
21		0						0		
22		0						0		
23		0						0		
24		0		0		0		0		0
25		0		0		0		0		0
26		0	Gr	0+		0		0		0
27		0		0		0		0		0
28		0						0		
—										

表 6.4 港内状況一覧 (2026 年 3 月)

日	稚内	水量	網走	水量	羅臼	水量	根室	水量	花咲	水量
1		0						0		
2		0		0	Br	2		0		0
3		0		0	Br	2		0		0
4		0		0	Br	0+		0		0
5		0		0		0		0		0
6		0		0	Br	1		0		0
7		0						0		
8		0						0		
9		0		0	Br	3		0		0
10		0		0	Br	0+		0		0
11		0		0		0		0		0
12		0		0	Br	0+		0		0
13		0		0	Br	1		0		0
14		0						0		
15		0					Br★	7		
16		0		0		0	Br★	7		0
17		0		0		0	Br★	9		0
18		0		0		0	Br★	9		0
19		0		0		0	Br★	8		0
20		0					Br★	8		
21		0					Br	2		
22		0					Br	2		
23		0		0		0	Br	1		0
24		0		0		0	Br	1		0
25		0		0		0	Br	0+		0
26		0		0		0		0		0
27		0		0		0		0		0
28		0						0		
29		0						0		
30		0		0		0		0		0
31		0		0		0		0		0

表 6.5 港内状況一覧 (2026 年 4 月)

日	稚内	水量	網走	水量	羅臼	水量	根室	水量	花咲	水量
1		0		0		0		0		0
2		0		0		0		0		0
3		0		0		0		0		0
4		0		0		0		0		0
5		0		0		0		0		0
6		0		0		0		0		0
7		0		0		0		0		0
8		0		0		0		0		0
9		0		0		0		0		0
10		0		0		0		0		0
11		0		0		0		0		0
12		0		0		0		0		0
13		0		0		0		0		0
14		0		0		0		0		0
15		0		0		0		0		0
16		0		0		0		0		0
17		0		0		0		0		0
18		0		0		0		0		0
19		0		0		0		0		0
20		0		0		0		0		0
21		0		0		0		0		0
22		0		0		0		0		0

4 海氷状況の情報提供

海氷情報センター設置期間中、北海道周辺に海氷域が確認された場合は入手した観測資料を海氷図に取りまとめ、毎日 17 時頃までにインターネットにより海氷速報として提供した。

日本海及び太平洋に海氷の流出がある場合には「地域航行警報(通報区域は港則法適用港及び付近に限る)」及び「NAVTEX 航行警報」により付近航行船舶への安全通報を実施した。

また、「海の安全情報(インターネット及び電子メール(登録制))」の緊急情報として通報するとともに、「AIS(船舶自動識別装置)」により情報提供した。

これらの情報の収集と提供の流れについては、図 4 に示すとおりである。

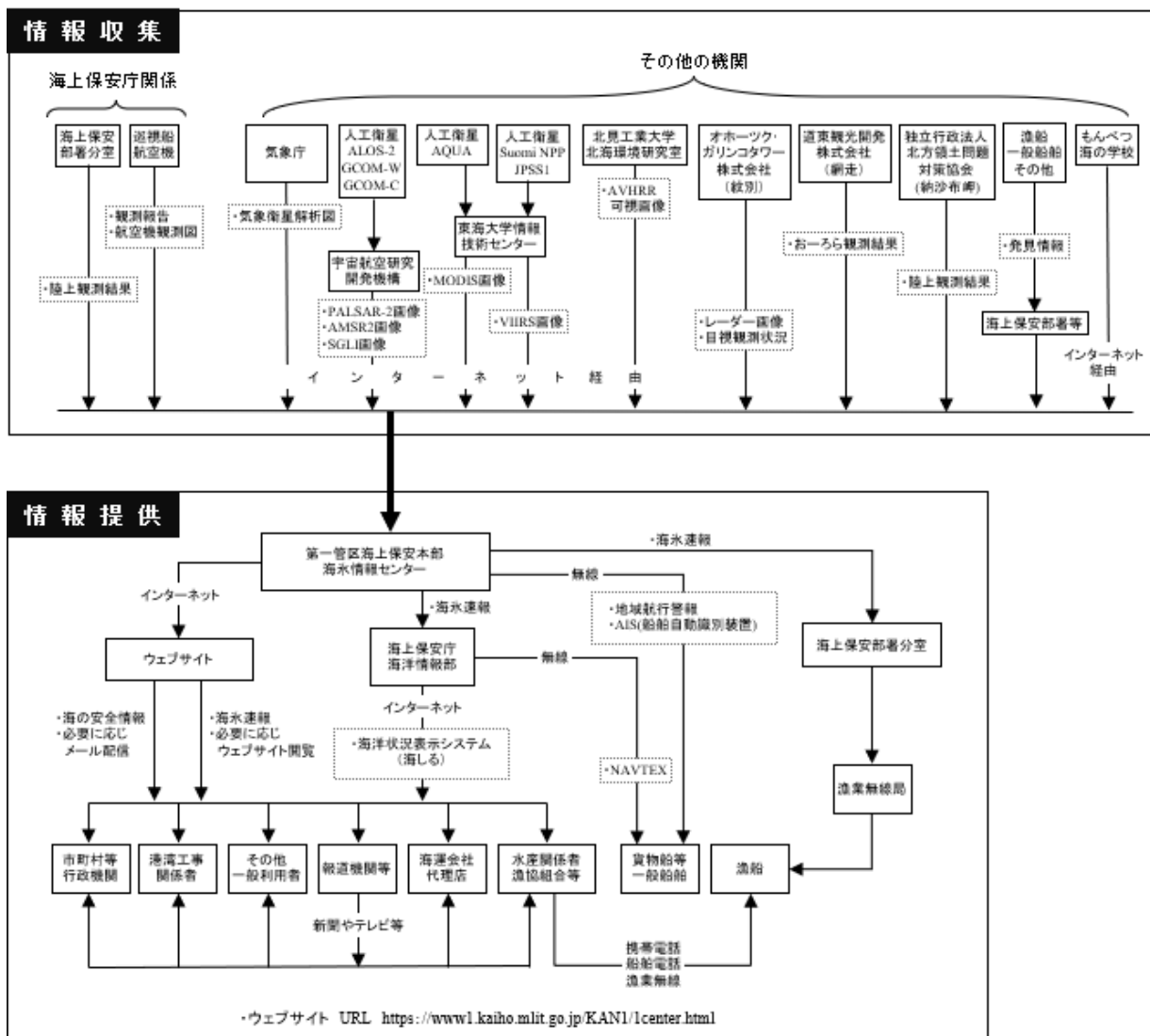


図 4 海氷情報の収集と提供の流れ

(1) 海氷速報の提供

第一管区海上保安本部において、入手した海氷情報を基に令和7年12月19日から令和8年4月22日までの間、海氷速報を作成し、インターネットにより提供した。月別提供件数は表7のとおりである。

表7 海氷速報月別提供件数

	12月	1月	2月	3月	4月	合計
提供件数	3	28	28	31	21	111

(2) インターネット

第一管区海上保安本部のウェブサイトにおいて、海氷速報のほか、航空機による観測図、航空機から撮影した海氷状況（デジタル写真）、船舶等の海氷観測報告及び沿岸観測状況を掲載した。

また、海の安全情報（ウェブサイト）による海氷情報の提供件数は、今季12件であった。

このほか、海上保安庁がインターネット上で提供している海洋状況表示システム（愛称:海しる）においても、海氷情報の提供を行っている。

(3) 無線

北海道沿岸部において日本海及び太平洋に海氷の流出がある場合には、NAVTEX航行警報等により付近航行船舶への安全通報を実施した。オホーツク海、根室海峡を航行しようとする船舶に対し、AIS（船舶自動識別装置）による海氷情報の提供を行った。今季の通報発出件数は、地域航行警報が3件、NAVTEX航行警報が23件、AISメッセージが16件であった。

5 海氷による海難

海氷の上に乗った二人組が沖に流され孤立し、救助された。

6 沿岸海氷統計

各沿岸観測地点での観測値について、下記のとおりとりまとめた。

表 9.1～表 9.4	: 沿岸観測平年値
表 10.1～表 10.4	: 沿岸観測一覧表
図 5.1～図 5.3	: 港内及び流氷氷量と全氷量
表 11	: 旬別氷量と全氷量
図 6	: 旬別氷量
図 7	: 結氷・流氷による航行障害状況

表 9 及び表 10 に示す期間とは、初日から終日までの日数を表したものである。表 9.1、表 9.2、表 10.1 及び表 10.2 に示す日数とは、結氷又は流氷を観測した日数であり、表 9.3、表 9.4、表 10.3 及び表 10.4 に示す日数とは、結氷または流氷による航行障害（港内や湾などが海氷に覆われ、船の航行が妨げられること）が発生した日数である。

なお、初日から終日までの期間中には、結氷又は流氷の無い日も含まれる。

表 9.1 沿岸観測平年値 結氷 (1991~2020 年)

結氷	年数	初日	終日	期間	日数	月別日数				
						12月	1月	2月	3月	4月
稚内	26	01/15	02/25	37日	16日	0	5	8	2	0
網走	30	12/30	03/20	81日	63日	2	18	26	16	0
羅臼	[22]	[02/07]	[03/16]	[28日]	[14日]	[0]	[1]	[8]	[5]	[1]
根室	30	12/26	03/21	87日	64日	4	21	24	14	1
花咲	29	01/05	03/18	70日	38日	1	13	17	7	0

※年数は、初日及び終日の平均値の算出に使用した年数で、1991~2020 年のうち結氷が見られた年数。

なお、期間及び日数は、結氷の見られなかった年も含んだ平均値のため、表中の初日から終日までの期間とは一致しないことがある。

※初日とは港内や湾などの海面が凍結した最初の日で、終日とは港内や湾などの海面が凍結した最後の日をいう。

※月別日数は月毎に平均した値で、その合計値は日数の平均値と一致しないことがある。

※羅臼は 2008 年から平日のみの観測となっているため [参考値] としている。

表 9.2 沿岸観測平年値 流氷 (1991~2020 年)

流氷	年数	初日	終日	期間	日数	月別日数				
						1月	2月	3月	4月	5月
稚内	12	02/20	03/03	05日	02日	0	1	1	0	0
網走	30	01/26	03/28	63日	45日	4	20	16	3	0
羅臼	[30]	[02/10]	[04/02]	[52日]	[27日]	[1]	[10]	[12]	[4]	[0]
根室	26	02/15	03/21	31日	20日	1	8	10	1	0
花咲	15	03/04	03/19	08日	04日	0	2	2	1	0

※年数は、初日及び終日の平均値の算出に使用した年数で、1991~2020 年のうち流氷が見られた年数。

なお、期間及び日数は、流氷の見られなかった年も含んだ平均値のため、表中の初日から終日までの期間とは一致しないことがある。

※初日とは視界内の海面に流氷が現れた最初の日で、終日とは視界内の海面で流氷が見えた最後の日をいう。

※月別日数は月毎に平均した値で、その合計値は日数の平均値と一致しないことがある。

※羅臼は 2008 年から平日のみの観測となっているため [参考値] としている。

表 9.3 沿岸観測平年値 結氷による航行障害 (1991~2020 年)

結氷	年数	初日	終日	期間	日数	月別日数				
						12月	1月	2月	3月	4月
稚内	9	02/04	02/28	08日	04日	0	1	2	1	0
網走	29	02/02	03/08	35日	25日	0	2	15	8	0
羅臼	[19]	[02/14]	[03/13]	[18日]	[05日]	[0]	[0]	[3]	[2]	[0]
根室	27	01/15	03/14	54日	36日	0	8	16	10	1
花咲	14	02/18	03/03	06日	03日	0	0	2	1	0

※年数は、初日及び終日の平均値の算出に使用した年数で、1991~2020 年のうち結氷による航行障害が発生した年数。なお、期間及び日数は、結氷による航行障害が発生しなかった年も含んだ平均値のため、表中の初日から終日までの期間とは一致しないことがある。

※初日とは結氷による航行障害が発生した最初の日で、終日とは結氷による航行障害が発生した最後の日をいう。

※月別日数は月毎に平均した値で、その合計値は日数の平均値と一致しないことがある。

※羅臼は 2008 年から平日のみの観測となっているため [参考値] としている。

表 9.4 沿岸観測平年値 流氷による航行障害 (1991~2020 年)

流氷	年数	初日	終日	期間	日数	月別日数				
						1月	2月	3月	4月	5月
稚内	9	02/22	03/06	04日	01日	0	0	1	0	0
網走	30	01/30	03/23	54日	37日	3	18	13	2	0
羅臼	[29]	[02/12]	[03/29]	[45日]	[21日]	[0]	[7]	[9]	[3]	[0]
根室	24	02/14	03/18	27日	16日	1	7	8	1	0
花咲	11	03/10	03/18	03日	02日	0	0	1	0	0

※年数は、初日及び終日の平均値の算出に使用した年数で、1991~2020 年のうち流氷による航行障害が発生した年数。なお、期間及び日数は、流氷による航行障害が発生しなかった年も含んだ平均値のため、表中の初日から終日までの期間とは一致しないことがある。

※初日とは流氷による航行障害が発生した最初の日で、終日とは流氷による航行障害が発生した最後の日をいう。

※月別日数は月毎に平均した値で、その合計値は日数の平均値と一致しないことがある。

※羅臼は 2008 年から平日のみの観測となっているため [参考値] としている。

表 10.1 沿岸観測一覧表（結氷）

地名	初日	平年比	終日	平年比	期間	平年比	日数	平年比	月別日数及び平年比									
	月日	日	月日	日	日	日	日	日	12月		1月		2月		3月		4月	
稚内	なし	—	なし	—	0	—	0	-16	0	±0	0	-5	0	-8	0	-2	0	±0
網走	01/26	+27	02/26	-22	32	-49	14	-49	0	-2	3	-15	11	-15	0	-16	0	±0
羅臼	02/09	+2	03/02	-14	22	-6	2	-12	0	±0	0	-1	1	-7	1	-4	0	-1
根室	12/19	-7	02/17	-32	61	-26	34	-30	1	-3	21	±0	12	-12	0	-14	0	-1
花咲	なし	—	なし	—	0	—	0	-38	0	-1	0	-13	0	-17	0	-7	0	±0

※平年比とは、表 9.1 に示す平年値との差を表したものである。

※網走、羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

表 10.2 沿岸観測一覧表（流水）

地名	初日	平年比	終日	平年比	期間	平年比	日数	平年比	月別日数及び平年比									
	月日	日	月日	日	日	日	日	日	1月		2月		3月		4月		5月	
稚内	なし	—	なし	—	0	-5	0	-2	0	±0	0	-1	0	-1	0	±0	0	±0
網走	01/26	同日	04/16	+19	81	+18	37	-8	4	±0	11	-9	18	+2	4	+1	0	±0
羅臼	02/02	-8	04/03	+1	61	+9	23	-4	0	-1	6	-4	15	+3	2	-2	0	±0
根室	03/14	+27	03/25	+4	12	-19	12	-8	0	-1	0	-8	12	+2	0	-1	0	±0
花咲	なし	—	なし	—	0	-8	0	-4	0	±0	0	-2	0	-2	0	-1	0	±0

※平年比とは、表 9.2 に示す平年値との差を表したものである。

※網走、羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

表 10.3 沿岸観測一覧表（結氷による航行障害）

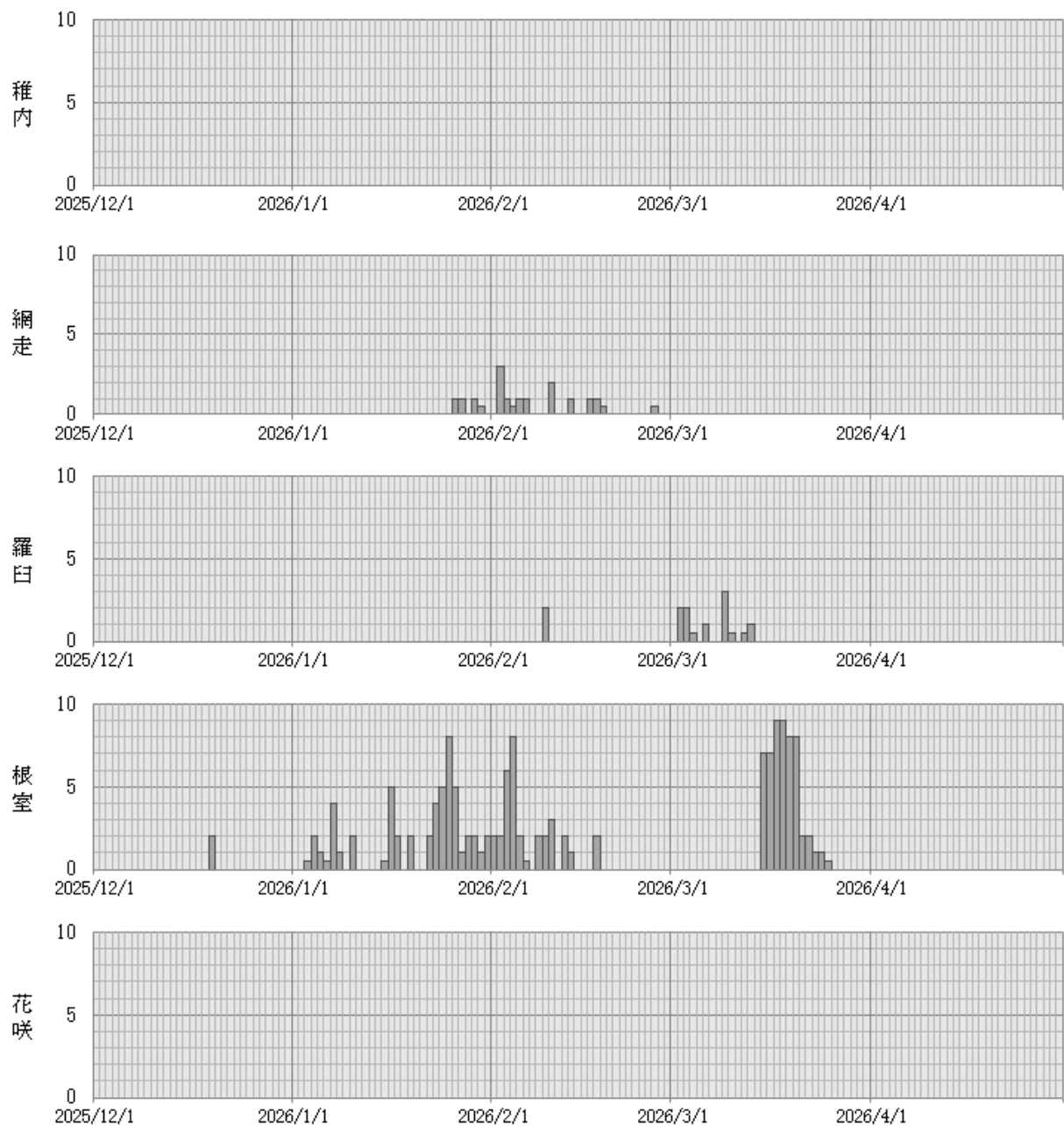
地名	初日	終日	期間	日数	月別日数				
	月日	月日			12月	1月	2月	3月	4月
稚内	なし	なし	0	0	0	0	0	0	0
網走	2月 5日	2月 5日	1	1	0	0	1	0	0
羅臼	なし	なし	0	0	0	0	0	0	0
根室	1月 7日	2月10日	35	3	0	1	2	0	0
花咲	なし	なし	0	0	0	0	0	0	0

※網走、羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

表 10.4 沿岸観測一覧表（流氷による航行障害）

地名	初日	終日	期間	日数	月別日数				
	月日	月日			12月	1月	2月	3月	4月
稚内	なし	なし	0	0	0	0	0	0	0
網走	2月 2日	3月30日	57	16	0	0	5	11	0
羅臼	2月 6日	2月 6日	1	1	0	0	1	0	0
根室	3月15日	3月20日	6	6	0	0	0	6	0
花咲	なし	なし	0	0	0	0	0	0	0

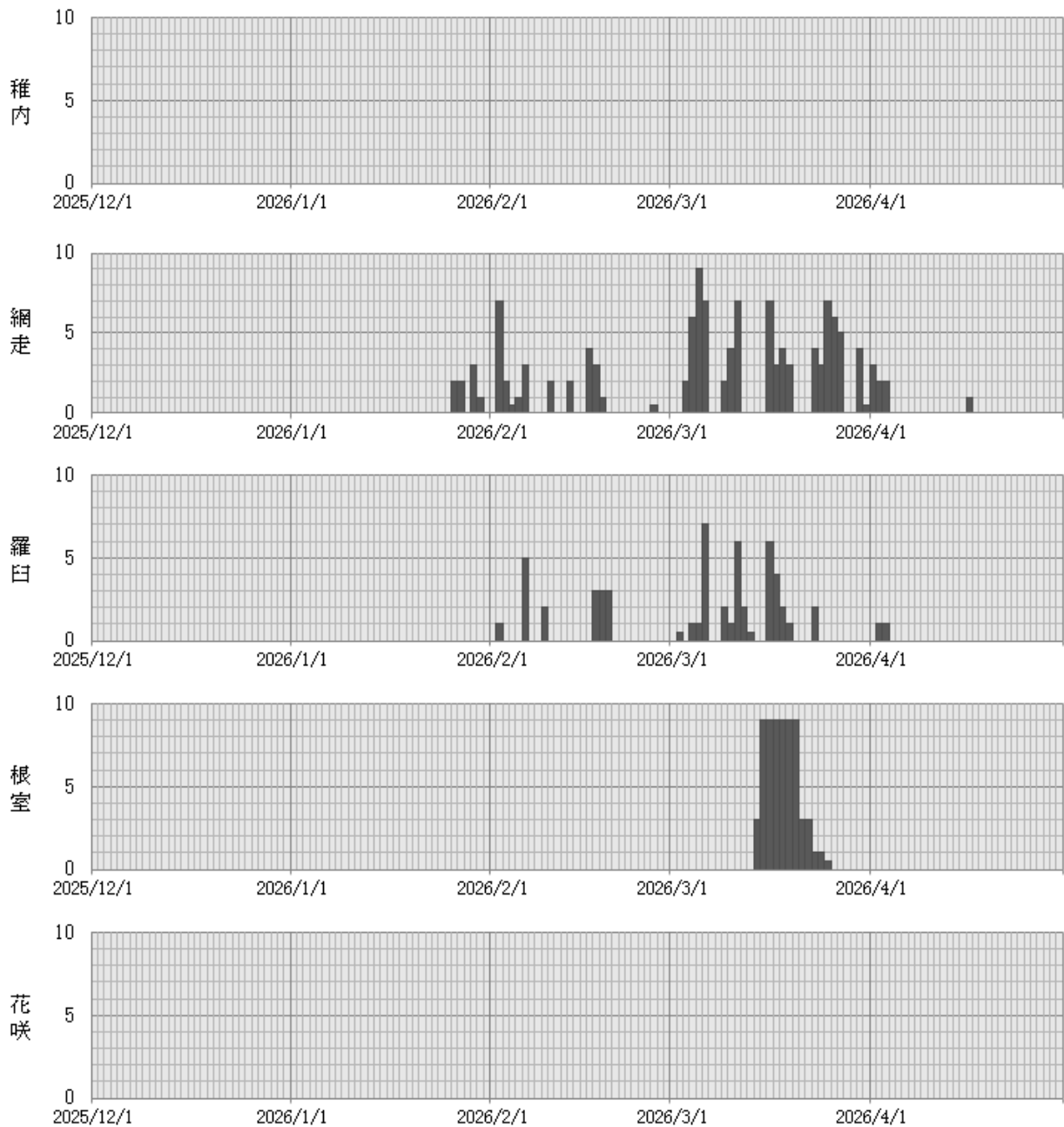
※網走、羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。



※氷量 0+は、1 に満たない氷量だが海氷は存在する場合であり、便宜上 0.5 で表示している。

※網走、羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

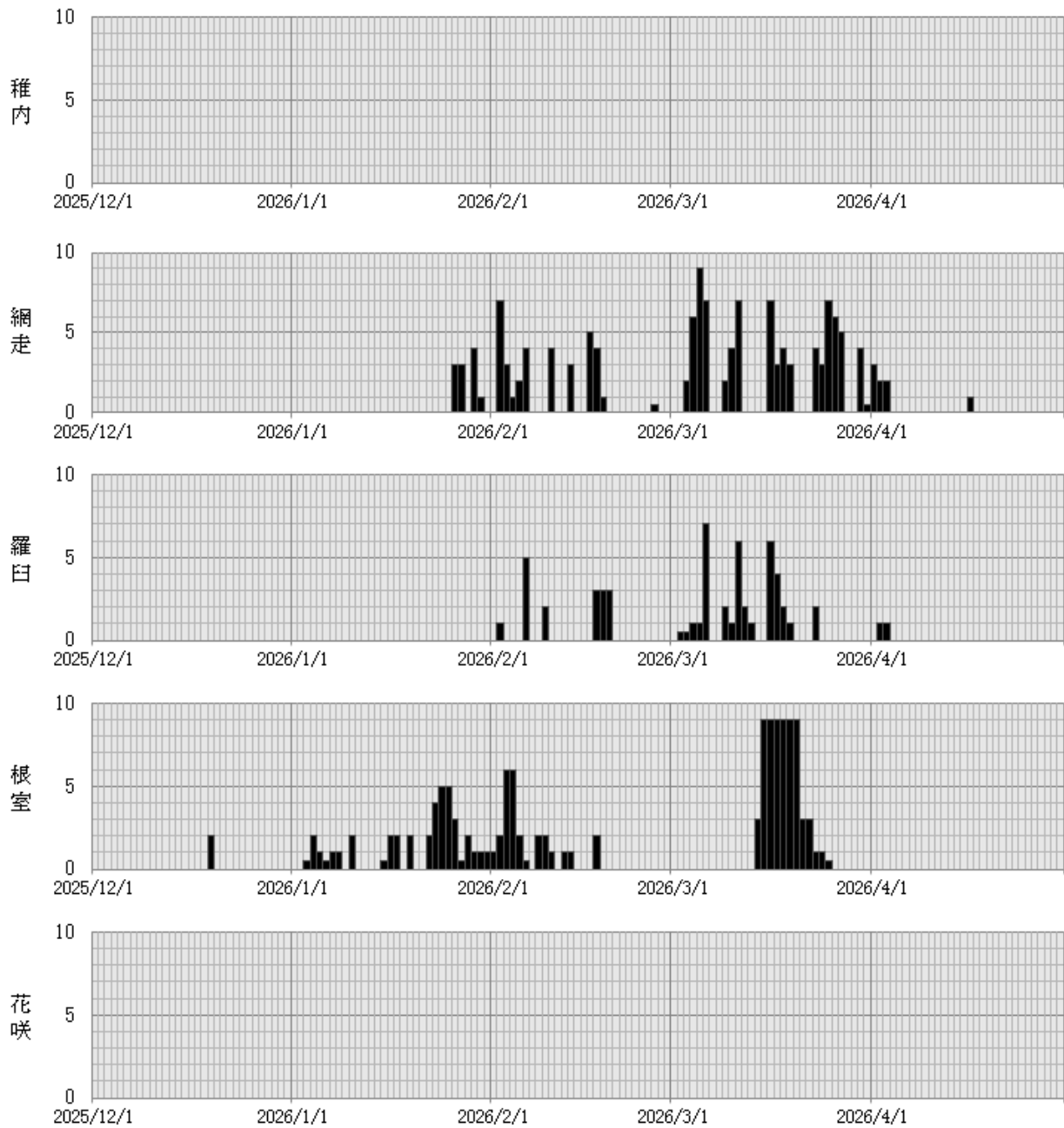
図 5.1 港内氷量



※氷量 0+は、1 に満たない氷量だが海氷は存在する場合であり、便宜上 0.5 で表示している。

※網走、羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

図 5.2 流水氷量



※氷量 0+は、1 に満たない氷量だが海氷は存在する場合であり、便宜上 0.5 で表示している。

※網走、羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

図 5.3 全氷量

表 11 旬別氷量と全氷量

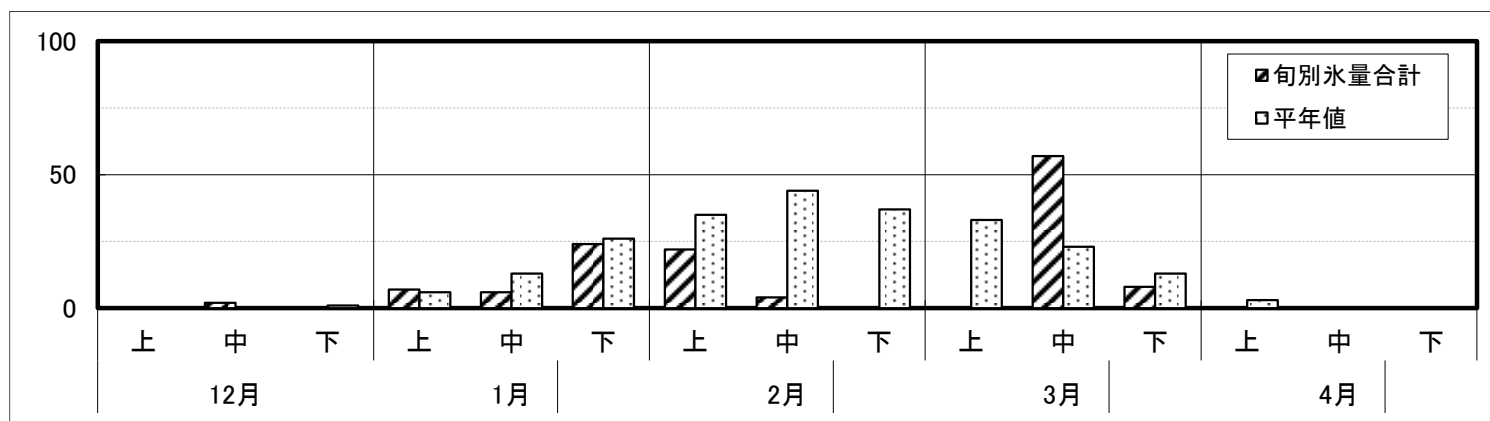
	12月			1月			2月			3月			4月			全氷量 (合計)
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
稚内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
網走	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[11]	[21]	[13]	0+	[30]	[24]	[29]	[7]	[1]	[0]	[136]
羅臼	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[8]	[9]	[0]	[12]	[22]	[2]	[2]	[0]	[0]	[55]
根室	0	2	0	7	6	24	22	4	0	0	57	8	0	0	0	130
花咲	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
旬別氷量合計	0	2	0	7	6	24	22	4	0	0	57	8	0	0	0	130
平年値	0	0	1	6	13	26	35	44	37	33	23	13	3	0	0	234

※氷量は、視界内海域の全域がほぼ隙間なく海水に覆われているときを10、海氷と水面がほぼ1/2ずつのときを5とした海水面積の割合（10分率）

をいい、年間の氷量の合計値を全氷量としている。また氷量が1割に満たないときは0+とし、0+がいくら多くなってもその合計は1にはならない。

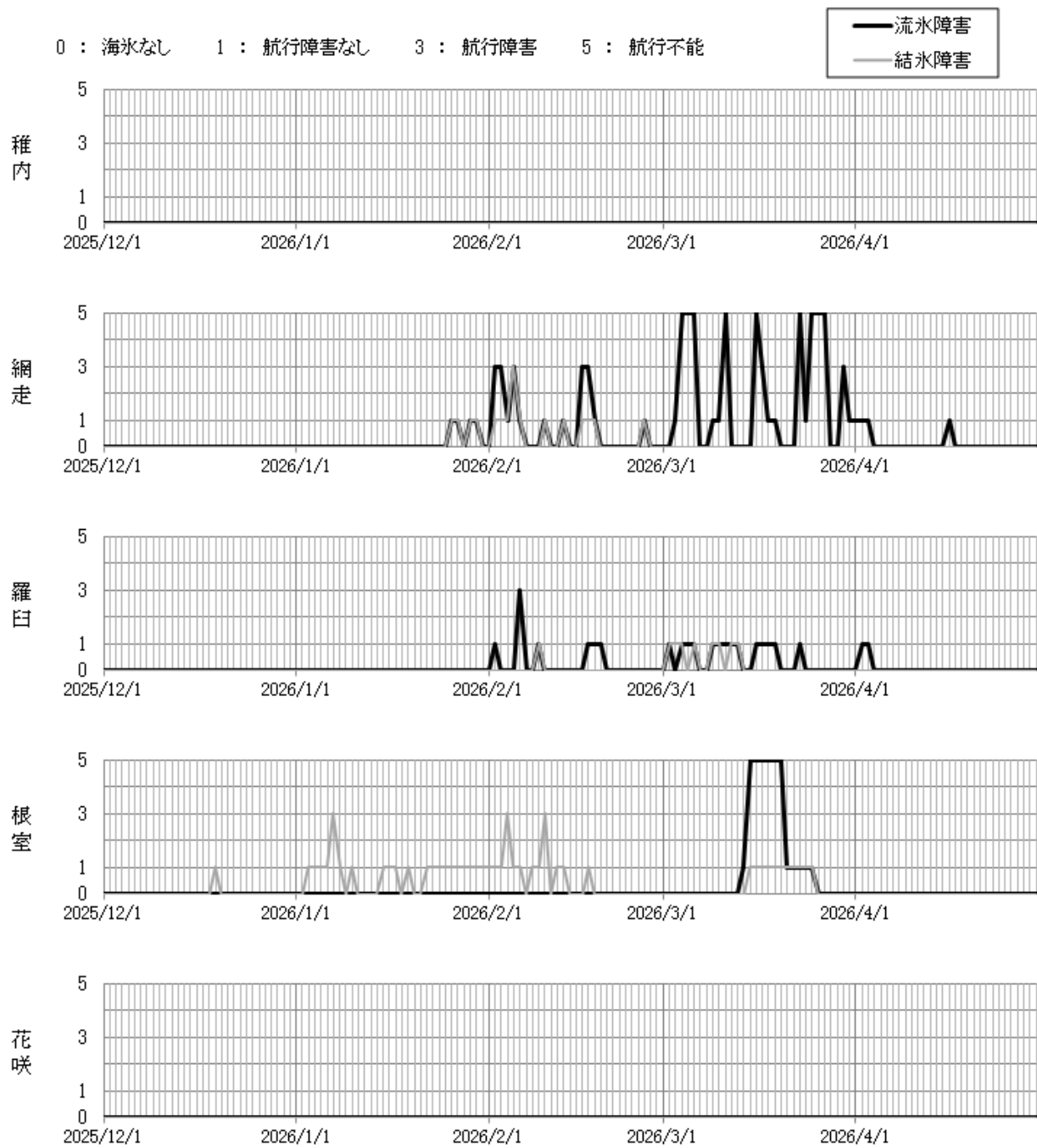
※平年値は、1991～2020年で観測された海氷量の平均値。

※網走は2026年、羅臼は2008年、花咲は2021年から平日のみの観測となっているため、参考値としており、氷量の合計値及び平年値には含んでいない。



※今季の旬別氷量合計と平年値との比較

図 6 旬別氷量



※網走、羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

図7 結氷・流水による航行障害状況

7 今季の海氷状況

今季のオホーツク海南西海域の海氷状況の特徴は、次のとおりである。

- (1) サハリン南端の北緯 46 度以南への海氷の南下が確認された時期は、前年と比較して 3 日早く、平年と比較して同程度であった。

1 月上旬から海氷の南下が進み、下旬までには枝幸沖から知床岬までの各地で接岸した。本体は海氷域を拡大しながら勢力を増し、2 月中旬に今季の最大勢力となっている、

海氷は 2 月下旬まではその勢力を維持していたが、3 月上旬に入ると海氷域の密接度が小さくなり始めた。4 月上旬に入ると急速に融解が進み、4 月中旬には残滓となり、4 月 22 日に海氷情報センター業務を終了した。

サハリン南端の北緯 46 度以北への海氷の後退が確認された時期は、前年と比較して 7 日遅く、平年と比較して 5 日程度早かった。

- (2) 宗谷海峡から日本海への海氷の流出は、1 月下旬から 4 月上旬まで断続的に観測された。

根室海峡への海氷の流入は 1 月下旬から 3 月下旬まで継続的に観測されたほか、太平洋への海氷の流出は、国後水道では 2 月上旬から 3 月下旬まで継続的に観測され、択捉海峡からの流出は観測されなかった。瑛瑤瑠水道からの太平洋への海氷の流出は、3 月中旬から下旬にかけ、ごく小規模に見られたただけであった。

- (3) 沿岸の結氷については、5 箇所 of 沿岸観測地点のうち 3 箇所(網走、羅臼、根室)で観測され、稚内、花咲では観測されなかった。平年の結氷初日と比較して、網走では 27 日遅く、羅臼では 2 日遅く、根室では 7 日早かった。また、結氷終日は網走では 22 日早く、羅臼では 14 日早く、根室では 32 日早かった。

結氷観測日数を見ると、平年と比較して、網走では 49 日、羅臼では 12 日、根室では 30 日少なかった。

- (4) 沿岸の流氷については、5 箇所 of 沿岸観測地点のうち 3 箇所(網走、羅臼、根室)で観測され、稚内、花咲では観測されなかった。平年の流氷初日と比較して、網走では同日、羅臼では 8 日早く、根室では 27 日遅かった。また、流氷終日は網走では 19 日、羅臼では 1 日、根室では 4 日遅かった。

流氷観測日数を見ると、平年と比較して網走では 8 日、羅臼では 4 日、根室では 7 日少なかった。

- (5) 今季の沿岸観測地点での全氷量は、網走、羅臼及び花咲が平日のみの観測のため除外しており、根室及び稚内の観測について記載する。

今季の全氷量は平年値の 55% 程度であった。

旬別に見ると、全期間で概ね平年より少なく、特に 2 月中旬から 3 月上旬にかけては平年を大きく下まわったものの、3 月中旬の氷量は、平年よりも上回っていた。